



# 連合駿台会報

No.376 令和8年1月20日発行  
 発行・編集 連合駿台会  
 発行人 広報委員長・齋藤柳光  
 編集人 事務局・矢嶋まゆ子  
 〒101-0052 千代田区神田小川町三十二  
 明治大学「紫紺館」内  
 電話 (〇三) 三二九六一四七四七  
 印刷 有限会社 美創

## 創立一五〇周年に向け 支援の輪を一丸で

明けましておめでとうございます

会員の皆さまにおかれましては、ご家族と健やかな新年をお迎えのことと、心よりお祝い申し上げます。またも箱根駅伝に母校の姿なく、いささか寂しい年初にはなつたかとは存じますが、干支の丙午にあたり炎のエネルギーで情熱や行動力が高まる大きな飛躍が期待される新たな年、我が連合駿台会へのお一層のご協力をお願い申し上げます。

昨年は世界が、第二次トランプ政権による予想通りのアメリカンファーストの「トランプ2・0」政策に翻弄され、高関税問題などにより日米関係はもろろん、国際秩序の変動も激しく、外交、安全保障などあらゆる面で不透明な展開に終始しました。我が国も七月の参議院選挙で石破茂政権下の自民党が歴史的な惨敗を喫し、十月に新たに高市早苗氏が史上初の女性内閣総理大臣に就任しましたが、円安や物価高が収まらぬまま台湾有事問題発言などで波乱含みの年越しとなっております。しかも、このところの猛暑襲来と災害増大には地球温暖化などの脅威を感じずにはられません。そんな中でも、大リーグではドジャースが大谷翔平、山本

連合駿台会  
会長  
田村 駿



由伸、佐々木朗希の獅子奮迅の活躍で世界一連覇、関西万博には2557万人もの人々が集い、ノーベル賞では坂口志文、北川進両氏が十年ぶりにダブル受賞するなど、世界に「日本の底力」を見せつけました。

底力と言え、昨年の我が連合駿台会の例会参加者は、一月（駿台懇話会）126人、三月137人、五月（総会）142人、七月126人、九月125人、十一月134人で計790人と、これまでの最多を記録させていただきました。これもひとえに、目的の「会員相互の研鑽、親睦を図ると共に母校の発展に寄与する」ことを一にした皆さまのご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

本年は二〇三一年の母校明治大学創立一五〇周年に向けあと五年となりますが、すでに記念事業として、「山の上ホテルの継承」、「駿河台キャンパス総合施設整備計画SURUGADDAI6・0」そして、「箱根駅伝優勝を目指す紫紺の襷プロジェクト」の三つが推進され、この四月には四十二年ぶりの系列校設置として明治大学付属世田谷中学校・高等学校との中高大連携がスタートし、政経学部には新たな学科「政策学科」が創設されるなど、午年に相応しい躍進の年となります。

ます。

一四〇周年で団体功労賞をいただいたわが会も一五〇周年というアニバーサリーヤーに向けて、これまで以上に実績を積み上げていきたいと思っております。

その一つが先駆けが新規事業の「明治ビジネス・チャレンジ」への協賛です。明治大学に在籍する全学部学生や大学院生を対象にした起業家を目指すスタートアップ事業の学内コンテンツですが、これまでの経営学部主催から今年度より大學生主催となるのを機に、連合駿台会から会長賞30万円を授与して協賛すること致しました。学内では昨年四月に「起業・スタートアップ支援室」も開設され、先ごろ東京都が推進する大学発スタートアップ創出支援事業にも採択されるなど、次代の要請に応じてビジネスチャレンジモードは急速に高まっております。今後は、授賞にとどまらず会としての立案した起業家に対する支援も要望されております。数多の経済界の雄がメンバーの本会としては是非とも協力していきたいと考えております。

また、今年度は、会の活性化のために、ホームページに「会員専用ページ」の新設を予定しております。第一段階としてセキュリティの観点から共有のID及びパスワードを付与することで、例会や各種イベントの案内などを速やかに閲覧できるなど、より機能の充実を図ります。そして、ホームページをより身近にするためにこのほどQRコードを採用し大変簡便になりました。

さらに基本活動方針に則って、幅広い会員の参加を呼びかけ、一昨年誕生の女性の会である「虎翼会」も13人から16人に増えるなど、昨年十一月時点で会員数386人と大台の400人を目指して順調に活性化が図られています。

「創立一五〇周年に向け支援の輪を一丸で」を合言葉に、連合駿台会の絆を一層強くしてまいりたいと存じます。二〇〇二年に若水クラブと明友クラブが統合して連合駿台会と称した「連合」には、かの坂本龍馬の薩長連合にもつながる開明の志があったと、さる先達から伺ったことがあります。数多の校友関係組織の中でも名実ともにレゾン・デートルのある会として、心新たに躍進の一年を目指したいと思います。

謹んで皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 創立一五〇周年をメルクマールとして、 その先の未来へ

二〇二六年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。田村会長を始め、連合駿台会の皆様には、昨年も学術賞・学術奨励賞、学生対抗プレゼンテーション大会、ビジネス・インサイト、リバティアカデミー寄付講座そしてホームカミングデーやシェイクスピアプロジェクトへの協賛など、本学に対し多大なるご理解とご支援を賜っております。また新たに、起業を志す明大生のためのビジネスコンテスト「明治ビジネスチャレンジ」にもご支援をいただくこととなり、学校法人を代表し厚く御礼を申し上げます。

さて、二〇二五年を振り返りますと、施設整備面では、生田キャンパスにおいて十一年ぶりの新校舎となる「セクターフォレスト」が竣工いたしました。この校舎は、教室としての機能と図書館としての機能、そして総合的な自主学習のためのラーニングコモンズ機能の三つを複合した理工学部と農学部の共用教育棟であります。多様な学びの推進や教育施設の充実を目的とし、「研究のMEIJI」として世界でのプレゼンスを高めていくための要所となることが期待されております。「セクターフォレスト」という名の通り、緑豊かな生田キャンパスのまさに中央に位置し、開放的

な空間は学生達からも好評で、キャンパス滞在時間も大きく伸びております。

ところで、皆様ご承知のように、本学は二〇三一年に創立一五〇周年を迎えますが、既に記念事業として三つのプロジェクトを公表しております。一つ目は、山の上ホテルの土地・建物を取得して専門業者と提携しつつ、学生支援や社会連携といった機能を加えて再整備いたします。既に昨年八月より改修工事に着手しており、二〇二七年四月には工事を終える予定です。建物名称は「明治大学創立一五〇周年記念山の上記念館」とし、本学の新たなシンボルとして未来へ継承してまいります。二つ目は、駿河台キャンパスの総合施設整備計画であります。建物施設といった物理空間とIT等を活用した仮想空間を融合した次世代型としてアジアのハブとなるキャンパスとして、中野キャンパスの機能と統合しながら、およそ十四年の期間をかけて再整備するプロジェクトであります。そして三つめが、学長より公表いただいた一九四九年以来の箱根駅伝優勝を目指す「紫紺の襷プロジェクト」Mの輝きを再び」であります。昨年十月の予選会は惜しくも十二位となり残念ながら本大会出場は叶いませんでしたが、これをス

学校法人明治大学  
理事長  
柳谷 孝



タートとして、二〇三二年一月の箱根駅伝で八十三年ぶり八回目の優勝をすることを目指してまいります。昨年末には、創立一五〇周年記念事業実行委員会を立ち上げましたので、本年はその他のプロジェクトを含む全体のプランニングや予算配分の検討を一層推進してまいります。各記念事業や寄付の取り組みについて発信する創立一五〇周年記念事業オフィシャルウェブサイトも公開しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

結びになりますが、本学は創立一五〇周年という「歴史的な節目」をメルクマール（中間指標）として、その先の未来に向けて「世界に開かれた大学」として「世界に発信する大学」として輝き続けてまいりたいと存じます。その実現のため、私も先頭に立って学校法人明治大学を牽引してまいります。何と申しましても各界のリーダーとして活躍されている連合駿台会の皆様からのお力添え程心強いものがございます。本年も引き続きのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、連合駿台会の皆様方からさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 「個」を育て、社会へつなぐー新年にあたって」

明治大学  
学長  
上野 正雄



二〇二六年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。連合駿台会の皆さまにおかれましては、輝かしい新年の幕開けをお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、田村会長をはじめ、連合駿台会の皆さまには、日頃より学術賞・学術奨励賞や学生対抗プレゼンテーション大会、リバテアカデミー寄付講座など、本学に対し多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、二〇二五年を振り返りますと、国際社会の分断や緊張が、教育・研究の現場にも影を落としました。そのような情勢の中で、戦禍を逃れて来日したウクライナ人学生が共に学び、昨年無事に卒業を迎えることができたことは、本学の「個」を尊重する価値観を体現したとともに、その理念の大切さを実感する出来事でした。また、大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、法政大学、関西大学と連携し、ダイバーシティをテーマとしたシンポジウムを開催し、「知の交流」と「知の継承」の意義を国内外に発信しました。また、文部科学省より公表された「我が国の「知の総和」向上の未来像」高等教育システムの再構築（答申）」では、一人ひとりの能力を最大限に引き出す高等教育シス

テムの重要性が示されました。人口減少や国際環境の不確実性が高まる中、大学には、量ではなく質、そして個の力を社会につなげる役割が、これまで以上に求められています。明治大学は、これまでも建学の精神「権利自由、独立自治」のもと、一人ひとりの「個」を磨き、その多様な個が結び合うことで新たな価値を創造する人材を育成してまいりましたが、今後も、より一層、人間力を活かし、社会の課題を発見し、向き合い、解決へと導く人材を育成してまいります。

学内に目を向けますと、複数の視点・専門分野の見識に基づき観察し、捉え、問い直す力を育てる副専攻プログラムの設定、教員個々の研究力向上を図る機会を拡充するサバティカル研究制度の導入、先進的・独創的な研究を安定的かつ継続的に発展させるURR Aセンターの開設、起業家精神の涵養に向けた起業・スタートアップ支援の推進など、教育・研究・社会連携を一体として進める基盤づくりを着実に進めてまいりました。これらはすべて、社会の変化を踏まえ、将来を見据えた取組の一環であり、強い「個」を育て続けるための投資でもあります。

こうした取組を力強く支えてくださっているのが、連合駿台会をはじめとした校友の皆さまの存

在です。六十二万人に及ぶ校友の経験、知見、ネットワークは、本学にとってかけがえのない無形の資産です。このネットワークと叡智を結集させ、教育・研究・社会貢献へと循環させていくことで、明治大学の価値はさらに高まっていくと確信しています。加えて、急速に進むデジタル化や産業構造の転換、価値観の多様化といった環境変化の中においては、大学が社会と双方向で関わり続ける姿勢が一層重要となります。教育・研究の成果を社会に還元すると同時に、社会からの示唆や課題意識を再び学びの現場へと取込み、次代を担う人材育成へと昇華させていく―その循環を支えてくださる存在こそ、各界で活躍される皆さまであると考えています。

二〇三二年に迎える創立一五〇周年、そしてその先を見据え、明治大学はこれからも「前へ」進み続けるため、また、建学の精神の実現のため、連合駿台会の皆さまには、引続きの本学へのご支援と各界での一層のご活躍をお願い申し上げます。新しい年が、本学と皆さまにとって実り多き一年となりますことを心より祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。





**ADVANCEX**  
精密ばね精密部品製造業

**株式会社 アドバネクス**

〒114-8581 北区 田端 六-1-1  
田端アスカタワー

TEL 六八五三-0111  
TEL 六八五三-0111  
FAX 六八五三-0311

**株式会社 エービーコーポレーション**

代表取締役  
社長 阿部 倫明

〒980-0004 仙台市青葉区宮町三-18-133

TEL 022-211-5108  
TEL 022-211-5108  
FAX 022-211-3938

**株式会社 グランビスタ ホテル&リゾート**

代表取締役  
社長 荒井 幸雄

〒101-0047 千代田区内神田二-13-14

SIGATE大手町北五F

TEL 03-3152-0914  
TEL 03-3152-0914  
FAX 03-3152-0914

**株式会社 埼玉りそな銀行**

シニアアドバイザー  
池田 一義

〒330-9088 さいたま市浦和区常盤七-14-1

TEL 048-835-1634  
TEL 048-835-1634  
FAX 048-824-6580

三八五流通株式会社

専務取締役  
泉山 和久

〒039-1189 青森県八戸市長苗代上中坪三五-1

TEL 017-812-7141  
TEL 017-812-7141  
FAX 017-812-7150

**株式会社 CANTY コメダ珈琲事業部**

代表取締役  
市川 亨

〒164-0001 中野区中野四-1-3-1

オフィスサンクォレ二〇四

TEL 三三八五-1273  
TEL 三三八五-1273  
FAX 五九四二-9222

学校法人 明治大学  
理事長 付特任 アドバイザー  
評議員 岩田 守弘

〒200-0052 滋賀県大津市朝日が丘一-14-1

TEL & FAX 077-526-0802

**株式会社 りそな銀行**

代表取締役  
社長 岩永 省一

〒135-8581 江東区木場一-15-16五

深川ギヤザリアWII棟

TEL 六七〇四-1111  
TEL 六七〇四-1111  
FAX 五六三二-1549

**株式会社 オキソ**

代表取締役  
社長 大石 容紫子

〒438-0046 静岡県磐田市下岡田一-10-1

TEL 0538-341605  
TEL 0538-341605  
FAX 0538-361780

**ベップメイツ株式会社**

代表取締役  
大前 実之

〒103-0011 中央区日本橋大伝馬町一-10-14F

TEL 3663-1882  
TEL 3663-1882  
FAX 3663-1882

安全と信頼の警備  
タイヨー株式会社  
最高顧問 大村 託現

〒124-0023 葛飾区東新小岩五-18-12

タクミビル2F

TEL 五八七五-7350  
TEL 五八七五-7350  
FAX 五八七五-7360

**富士建物管理株式会社**

代表取締役  
社長 長田 宇功

〒190-0021 東京都立川市羽衣町三-18-1-1

TEL 042-524-6311  
TEL 042-524-6311  
FAX 042-524-6311

**株式会社 帝国ホテル**

代表取締役  
社長 風間 淳

〒100-8558 千代田区内幸町一-1-1

TEL 3504-1111  
TEL 3504-1111  
FAX 3539-1111

**株式会社 カナエ**

代表取締役  
社長 金子 圭太

〒105-0013 港区浜松町二-10-1

カナエ本社ビル

TEL 3432-1540  
TEL 3432-1540  
FAX 3437-6668

学校法人 明治大学  
監事 狩野 省市

〒101-8301 千代田区神田駿河台一-1-1

TEL 3329-4000  
TEL 3329-4000  
FAX 3329-4533

**東武トップツアーズ株式会社**

代表取締役  
社長 執行役員 百木 田康二

〒131-0045 墨田区押上一-1-1-2

東京スカイツリーイーストタワー三F

TEL 3622-1645  
TEL 3622-1645  
FAX 3622-1857

木下サーカス株式会社

代表取締役社長 木下唯志

〒700-0822 岡山市北区表町三二二二二二  
TEL 〇八六一三二二一〇四一  
FAX 〇八六一三二二一四九七二  
E-mail:webmaster@kinoshita-circus.co.jp

アサガミ株式会社

代表取締役社長 木村健一

〒100-0006 千代田区有楽町一三三二二  
TEL 〇三一六八八〇二二〇〇  
FAX 〇五〇一三三八五一一九一三

野村不動産ホールディングス株式会社

取締役会長 沓掛英二

〒105-8340 港区芝浦一三三二二  
ブルーフロント芝浦タワーズ  
TEL 六三八一七五〇〇

東京ヴェルディ株式会社

代表取締役社長 栗田大輔

〒206-0812 東京都稲城市矢野口四〇一五一一  
TEL 三五二一一一九六九  
FAX 〇四四一九四六一三〇四〇

日本電子株式会社

相談役 栗原権右衛門

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三一一二  
TEL 〇四二一五四二一一二〇〇  
FAX 〇四二一五四六一〇八〇六

サンキョーシャツ株式会社

代表取締役社長 小池康浩

〒980-0003 仙台市青葉区小田原四一四一四  
TEL 〇二二二二〇二七四〇一  
FAX 〇二二二二〇二七四〇二

ESGミライ株式会社

代表取締役社長 小井戸亮文

〒101-0051 千代田区神田神保町二一三七  
神田神保町ビル七F  
TEL 六六八五一八一六〇  
FAX 六六八五一八一七〇

株式会社スヴェンソン

代表取締役会長 児玉圭司

〒107-6017 港区赤坂一三二二二  
アーク森ビル一七F  
TEL 三五八六〇〇一  
FAX 三五〇五一一五七九七

東神興業株式会社

社主 根田哲雄  
代表取締役 根田吉雄

〒167-0043 杉並区上荻一一二二二一九  
TEL 五三三三三五六八六一  
FAX 五三三三三五六八六〇

一般社団法人健康ニッポン

会長 齊藤柳光

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町九四五  
TEL 〇四八二六四四一〇〇八五  
FAX 〇四八二六四四一〇三〇六

さつきアドバイザリー株式会社

公認会計士 坂田英夫  
税理士 坂田康明  
公認会計士 坂田明夫  
税理士 坂田明夫

〒101-0042 千代田区神田東松下町二二二一  
Yunuoビル四F  
TEL 六三八四一〇一三〇

株式会社HEXEL Works(ヘクスルワークス)

代表取締役社長 坂本孝行

〒105-0012 港区芝大門一三三三  
TEL 五四〇四一六七六三  
FAX 三四五九一三三三六三

株式会社アーバンコンサルタンツ

代表取締役社長 坂本道昭

〒101-0021 千代田区外神田二二二二二  
アーバンファーストビル  
TEL 三三五二二二七五〇  
FAX 三三五二二二七六〇

株式会社シテイハウジング

代表取締役社長 佐藤仁

〒144-0034 大田区西糞谷四二二八一一八  
TEL 三七四二二七六〇七  
FAX 六六二六一五六七七

ポエック株式会社

代表取締役社長 佐藤宏之

〒103-0023 中央区日本橋一八一一六  
アポロタワー日本橋二F  
TEL 六九一〇一三八九〇  
FAX 六九一〇一三八九八



『防水と屋上を総合的にプロデュースする』

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号  
TEL 03-3882-2424

代表取締役社長 相臺 志浩



ミズ太郎

<p>片倉工業株式会社</p> <p>相談役 佐野公哉</p> <p>〒104-8312 中央区明石町六一四 TEL 六八三二一八七三</p>	<p>株式会社廣澤精機製作所</p> <p>代表取締役社長 柴田清之</p> <p>〒300-4297 茨城県つくば市寺具一三三二一 TEL 〇二九一八六九一〇一一一 FAX 〇二九一八六九一〇一一三</p>	<p>ホテル華の湯</p> <p>副社長 清水殖</p> <p>〒963-1309 福島県郡山市熱海五一八一六〇 TEL 〇二四一九八四一〇二二二 FAX 〇二四一九八四一〇二〇八</p>	<p>創業昭和五十六年 東都ゴルフ株式会社東都シヤパン</p> <p>代表取締役 杉浦伸二</p> <p>〒103-0027 中央区日本橋三三八一〇 TEL 三三八一〇八〇一 FAX 三三八一〇八九〇</p>	<p>株式会社日本カーゴエクスプレス</p> <p>代表取締役 鈴木隆志</p> <p>〒105-0003 港区西新橋一―二〇〇一九 TEL 五二五一―一〇二一 FAX 五二五一―一〇一〇 <a href="http://www.joexp.co.jp">http://www.joexp.co.jp</a></p>
<p>株式会社王子自動車学校</p> <p>代表取締役 関口勝裕</p> <p>〒114-0004 北区堀船二―一三―二八 TEL 三九一三―七五二一 FAX 三九一三―七五二三</p>	<p>株式会社旭屋(業務用酒類卸)</p> <p>代表取締役社長 瀬戸正道</p> <p>〒144-0051 大田区西蒲田七―四三―一 TEL 三七三四―七一一一 FAX 三七三四―七一一五</p>	<p>合同会社高澤ビズアソシエイツ</p> <p>代表 高澤徹</p> <p>〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川一―六―一三三三 TEL&amp;FAX 〇四五―三三六―四九七〇 (携帯) 〇九〇―二七五七―一六九〇 E-mail: takazawa@lily.ocn.ne.jp</p>	<p>ダイアナ株式会社</p> <p>代表取締役社長 高橋郁夫</p> <p>〒107-0052 港区赤坂二―二二―三一 FAX 六八〇〇―三三三〇 TEL 六八〇〇―三三三〇 学校法人明治大学評議員</p>	<p>学校法人新潟大原学園</p> <p>校理事長 高橋淑浩</p> <p>〒950-0086 新潟市中央区花園一―三―三 TEL 〇二五―二四六―八八八八 FAX 〇二五―二四六―一八八八</p>
<p>新日本建設株式会社</p> <p>代表取締役 高見克司</p> <p>〒261-0021 千葉市美浜区ひび野一―四―一三 TEL 〇四三―二二二―一〇一一 FAX 〇四三―二二二―一〇七六四</p>	<p>株式会社昭和真空</p> <p>代表取締役 田中彰一</p> <p>〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名三〇六二―一〇 TEL 〇四二―七六四―〇三二一</p>	<p>株式会社ニチレイフレッシュ</p> <p>代表取締役社長 田邊弥</p> <p>〒104-8402 中央区築地六―一九―二〇 ニチレイ東銀座ビル</p>	<p>連合駁台会</p> <p>会長 田村駿</p> <p>(明治大学評議員会議長) 〒154-0012 世田谷区駒沢二―四三―三 TEL 〇九〇―四三三―七〇一五三五二 北野建設株式会社顧問</p>	<p>医療法人社団みなと会 デンタルオフィスみなと</p> <p>院長 露木良治</p> <p>〒410-0004 静岡県沼津市田町五―一―七 TEL 〇五五―九二六―八二四一 FAX 〇五五―九二二―九九一 オンライン患者管理システムを構築しています。 <a href="https://www.asagami.com/">https://www.asagami.com/</a></p>

総合物流をはじめとする多彩なサービスを  
“お客様のご満足”と“安全”をモットーに  
提供し続ける会社、それがアサガミです



**アサガミ株式会社**

本社：東京都千代田有楽町1-13-2  
TEL03-6880-2200 FAX050-3385-1913  
<https://www.asagami.co.jp>

徳丸織物株式会社

代表取締役 徳丸平太郎

〒335-0001 埼玉県蕨市北町三一五一  
TEL & FAX 〇四八―四四三―二〇五〇

明治大学金融紫紺会副会長  
明治大学雄弁部OB会会長  
明治大学校友会豊島地域支部副支部長

富水流孝二

〒170-0013 豊島区東池袋四―五―一  
エアライズタワー八―一六  
TEL & FAX 三九八七―一八九九

株式会社ラシーヌ

代表取締役 永井伸彦

〒154-0002 世田谷区下馬三―一四―一三  
TEL 三三九―九一四二  
FAX 三三九―一六八四  
E-mail: nagai@racine-jewel.jp

公益財団法人新聞通信調査会  
公益社団法人日本広告審査機構

理事長 西澤豊

Givingbackコンサルティング株式会社

代表取締役社長 野口一哉

〒164-0012 中野区本町三―三二―一八  
ループル新中野二〇二  
TEL 〇八〇―五六三―一三〇七〇

KTX株式会社

専務取締役 野田康平

〒480-0139 愛知県江南市安良町地蔵五一  
TEL 〇八〇―三六六―一九二〇〇

株式会社オカムラ  
物流システム事業本部品質管理部

萩原裕次

〒107-0052 港区赤坂一―八―一  
赤坂インターシティAIR十三F  
TEL 〇五〇―三五五―九一七六

株式会社ビッグKテニス

代表取締役会長 畠中君代

〒167-0053 杉並区西荻南三―八―一〇〇一  
TEL 〇九〇―三〇六―三六〇六二  
FAX 三三二―四七―六八八三

ネットトヨタ水戸株式会社

取締役社長 幡谷公朗

〒310-0851 水戸市千波町一 九八八  
TEL 〇二九―二四一―三二二一  
FAX 〇二九―二四三―二六四四

株式会社グリーンタワー

代表取締役社長 林威樹

〒261-0021 千葉市美浜区ひび野二―一〇―三  
TEL 〇四三―二九六―三六七六  
FAX 〇四三―二九六―一三三五

岡部株式会社

特別顧問 廣渡眞

〒131-8505 墨田区押上二―一八―二  
TEL 三六二―四一五―一一一  
FAX 三六二―四一五―一七五

アイム社会保険労務士法人

代表社員 真家裕介

〒160-0022 新宿区新宿一―六―一〇  
コスモ御苑ビル三F  
TEL 五三六―三二五―五五四  
FAX 五三六―三二四―五二八

連合駿台会大学支援委員会

委員長 眞壁八郎

〒252-0183 神奈川県相模原市緑区吉野六八四―七  
TEL 〇九〇―九六八―九五九六  
E-mail: makabe\_0004@yahoo.co.jp

さくら保育園

園長 松崎優子

〒279-0011 浦安市富士見四―六―二八  
TEL 〇四七―三〇三―三九三七  
FAX 〇四七―三〇三―三九四七

株式会社松本商会

代表取締役社長 松本伸一郎

〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬三三四―六八  
TEL 〇四九―二五一―〇六一一  
FAX 〇四九―二五一―一八八〇〇

船用照明器具・船用配線器具・船用信号器具・船用配電盤  
ヘリコプタ着船援助器具・高耐水性照明器具  
ISO 9001:2008認証工場

— 信頼と実績に応え、未来に挑戦する集団 —

大石電機工業株式会社

代表取締役社長 大石 哲也 昭和63年工学部卒業

〒140-0011 東京都品川区東大井2-17-9

TEL 03-3761-2166 (代表)・FAX 03-3761-4851

http://www.ohishi-denki.co.jp

エフ株式会社

代表取締役  
会長 宮下 隆

〒170-0005 豊島区南大塚三―三二―一〇  
TEL 五九五〇―〇一五〇  
FAX 五九五〇―六八〇五

株式会社ダイニチ

代表取締役  
社長 六井元一

〒279-0002 千葉県浦安市北栄一―一六―一三  
TEL 〇四七―三五四―〇二二三  
FAX 〇四七―三五四―〇七七七  
<https://www.dainichi.co.jp>

連合駿台会

顧問 村岡 健

〒158-0083 世田谷区奥沢八―二六―一六  
TEL 三七〇―一三三―二七  
FAX 三七〇―一三三―二七

株式会社大同  
フレンドシップカントリークラブ

代表取締役  
村山友彦

〒100-0014 千代田区永田町二―四―一  
フレンドビル  
TEL 三五八〇―一三四四七

山一興産株式会社

代表取締役  
社長 柳内光子

〒134-8612 江戸川区西葛西七―二〇―一  
TEL 五六七五―一四二二  
FAX 五六七五―一四二二

学校法人明治大学

理事長 柳谷 孝

〒101-8301 千代田区神田駿河台一―一  
TEL 三二九六―四〇〇〇  
FAX 三二九六―四三二八

株式会社やまたけ

代表取締役  
山口 大介

〒123-0841 足立区西新井五―三五―一三  
TEL 三八九九―三七三七  
FAX 三八九九―四六七二

学校法人明治大学顧問  
共同印刷株式会社社友

山口 政廣

〒273-0047 千葉県船橋市藤原七―一四―二〇四  
TEL&FAX 〇四七―四三八―八六三五

株式会社山田再生系債権回収総合事務所

代表取締役  
山田 晃久

〒20-0004 横浜市西区北幸一―一―一五  
横浜STビル一八F  
TEL 〇四五―三二五―三九一  
FAX 〇四五―三二五―三九〇五

株式会社不二家

代表取締役  
会長 山田 憲典

〒112-0012 文京区大塚二―一五―一六  
オーク音羽ビル  
TEL 五九七八―八一三三  
FAX 五九七八―八六三三

株式会社日本金属工芸研究所

取締役会長 山田朝彦

〒113-0023 文京区向丘一―六―一二  
TEL 三八一―七七〇九  
FAX 三八一―〇〇〇三  
公益社団法人日展理事・日本芸術院会員

株式会社クリエイト開発プロデュース

代表取締役社長  
山田 幸夫

〒107-6102 港区赤坂五―二―二〇  
赤坂パークビル  
TEL 六四三三―七五三七  
FAX 六四三三―七五三八

株式会社ブルーミッシェ

取締役会長  
吉田 菊次郎

〒104-0061 中央区銀座一―二―三  
TEL 三五六三―二七五五  
FAX 三五六三―二五五五

公認会計士  
税理士 吉田光一郎

代表取締役  
吉田 信行

〒103-0026 中央区日本橋兜町一―一―七  
ピーエム兜町ビル五F  
TEL 五六三三―二九一〇  
FAX 五六三三―二九一二

金魚の吉田 株式会社ヨシダ

代表取締役  
吉田 信行

〒124-0023 葛飾区東新小岩五―一四―七  
TEL 三六九四―三三七一  
FAX 三六九四―三三七五

株式会社東京精密

代表取締役  
会長 吉田 均

〒192-8515 東京都八王子市石川町二九六八―二  
TEL 〇四二―六四二―一七〇一  
FAX 〇四二―六四二―一七九八

神道神習教・桜神宮

管長・宮司  
芳村 正徳

〒154-0014 世田谷区新町三―二―一三  
TEL 三四二九―〇八六九  
FAX 三四二九―七四五二

株式会社ダイイチ

代表取締役  
社長 若園 清

〒080-2470 北海道帯広市西二十条南一丁目一四一四七  
TEL 〇一五五―三八―三四五六  
FAX 〇一五五―三八―三四三四  
昭和五十一年経営学部卒

ワタビヨウ株式会社

代表取締役  
渡邊 能宏

〒984-0015 仙台市若林区卸町三―四―二  
TEL 〇二二―三三八―七六二五  
FAX 〇二二―二八三―七八四一



## 連合駿台会十一月例会

「経営者・人事必見！ 職場とビジネスを混乱させる『モンスター』大研究」

脳心理学者・心理マネジメント研究所代表

杉山 崇氏

一足早い連合駿台会の忘年会が、十一月十八日（水）十七時三十分より、明治大学「紫紺館」で、杉山崇氏をゲストスピーカーとして開催されました。

当日の講演の趣旨は以下の通りです。

\*



杉山崇氏

## 社会的に嫌われる三つの特性を持つ人

今日は職場のモンスター大研究ということ、皆さまこれまでいろいろビジネスや取引きなりの中で、なんかこの人な〜？ と思われ方が、身近なところ、またちょっと離れたところにいらいっやるのはいかと思えますが、一言で言えばこういう『ヤバイ奴』の研究は、実は心理学ではかなり古くから行われていまして、百年くらい前は「背徳人間」という言葉でまとめられていましたが、その後の研究の結果、いろいろなタイプが出てくるのがわかってきて、大体三つにまとめられるということになりました。現代では「ダークトライアド」と呼ばれています。心理学においてダークトライアドとは、自己愛症 (narcissism) (ナルシシズム)、権謀術数主義 (Machiavellianism) (マキャヴェリアニズム)、精神病質 (psychopathy) (サイコパシー) の三つのパーソナリティ特性の総称として使われます。

最初の「ナルシシズム」は、日本語で聞くと笑える要素があるイメージですが、海外で言う『ナルシスト』はかなりヤバイ奴を指します。そこで一般的に日本で使われているナルシストと区別するために、日本語では『自己愛性パーソナリティ』という表現をしています。三つ目の「サイコパシー」は、映画などを通して、かなり有名になっています。

二つ目の「マキャヴェリアニズム」は世界的主流では「マキャヴェリアン」と表現されていますので、これを用いて紹介していきたいと思えます。

本題に入りますが、モンスター社員に悩む方は、結構増えているんです。いろいろ取材をいただきますが、最近ちょっと面白かったのは、『SPA!』という三〇歳、特に四〇歳の男性がメインターゲットの雑誌で『モンスター特集』のようなことを頼まれた一方、『CanCam』という二〇歳代女性向けの雑誌でも、同じような取材を受けました。両方の取材にに応じてわかったことは、二〇歳代には四〇歳代が、反対に四〇歳代からは二〇歳代がモンスターに見えているということ、Z世代と氷河期世代、そしてバブル世代との価値観の違い……、どうやら人間は自分と感性が違う人がモンスターに見えるときがあるのだということがちょっと見えてきました。これはこれで世代間の問題ですが、もつと言うとモンスターに我慢できない人が増えてきている、その傾向は特にZ世代に強いような印象がありました。

ここからは本格的に「ダークトライアド」の話に入りたいと思いますが、先ほどお話ししたナルシシズムもサイコパシーも、またマキャヴェリアンも最初から『危ない』とわかっていれば対策が取れるのですが、彼らは

第一印象ではとてもいい人を装っていて、人の心の懐にスツと入ってきます。そして何をするかというと、特に目立つのが平気でウソをつき、誰かをターゲットにして、誹謗中傷を繰り返したりします。これがHSP「ハイパーセンシティブパーソン」。科学的根拠や医学的定義はまったくない用語ですが、特別敏感な人たち〴〵のことをハイパーセンシティブパーソンというふうにマスコミでは言われていて、これを何で公言するかというとそういうと、多少のことは許してもらえると、これを「免罪符」に使うのです。「私、ハイパーセンシティブパーソンだから」というと仕方ないって、周りが言ってくれるのよね……、と期待して免罪符として使うわけです。

#### ダークトライアドには共通項がある

そしてこの「ダークトライアド」は三つの分類に分かれますが、そこには共通項があることがわかっていきます。まず一つは、大変「自己中心的」だということです。表面的には周囲の人を気遣っているように見えますが、行動をよく観察すると自分の利益や都合を最優先し、他人の気持ちや立場を考慮せずに行動していることがわかってくると思います。二つ目は「他者操作的」、つまり自分の目的を達成するために、他人の感情や思考、行動を意図的に自分の思い通りに誘導しようとしています。

ずる賢い方法や心理的な圧力を使い、相手のように影響を与えるのが特徴です。そして三つ目が「共感性の欠如」、「共感障害」とも言われ、他者の感情や立場を理解し、自分事として感じる事が難しい状態を指し、自己中心的、冷淡、コミュニケーション困難などの特徴として現れます。

それぞれに共感性が欠如するメカニズムは違うのですが、結果的に人の気持ちを理解しがたいという特徴があり、対人関係不誠実な影響を与えます。このような共通項を持つている人が職場とかビジネスの場で何をしやすいかということ、まず起こりやすいのがセクハラ、パワハラです。

さらに彼らは被害者をちゃんと選びます。被害を訴えにくい立場の人をターゲットにして、セクハラやパワハラを繰り返すんです。ターゲットにされた人はたまったものではないのですが、本当にそうなんだろうか？と思わせる周到さがあるんですね。一方、裏切り方もまた周到です。裏切ることもがバレないようにやります。知らないところで裏切られていた被害者は、最後まで気づかずに関係が終わるといふこともあり得るぐらい、こっそりとやりますね。

そして先ほどもお話ししましたけれども、周到にウソをつきます。ついてもバレないようつくんですね。そして特に、自己愛性

パーソナリティとマキャヴェリアンに特に顕著なのが、「マウンティング」（自分が相手より優位であることをアピールすること）が大好きなことです。このマウンティング行動から彼らを見抜くきっかけになる時もあります。たとえば自尊心を刺激するような言葉をかけたり、メールでちょっとそういうことを匂わせたりますと、ものすごく攻撃的で感情的な反撃をしてきますので、そういう場面に遭遇したら、〴〵「こいつはもしかしたら？」という合図ですね。マウンティング好きだという要素が、彼らを見抜くきっかけの一つになることを、覚えておいてもらえたらと思います。

共通項のその二、「他者操作的」は割と目立つ行動です。私たちは、サディズム・反フェミニズム・美徳シグナリングなどと呼んでいるんですけども、ちょっと詳しく説明したいと思います。

サディズムというのは簡単に言うと人の苦痛が快感になる、〴〵人の不幸は蜜の味〴〵という言葉がありますように、私たち人間には標準装備で人の不幸を蜜の味と感じてしまう脳の回路が搭載されています。これはあんまりよくない話になると聞こえるかもしれませんが、進化の過程でそれを必要としたんです。それはなぜでしょうか？地球に現存する人種はホモ・サピエンスですが、かつてはネアンデルタール人とか、ジャワ原人、北京

原人などのホモ・エレクトロニクス（直立原人）も存在しました。しかし、ネアンデルタール人は現存人種と近い身体的特徴を持っていたので、別の人種と生存競争をしているうち、他の人種は全部絶滅して、地球上の人種はホモ・サピエンスだけになりました。これを栄光の歴史と見るかもしれませんが、実は地獄の始まりはここからでした。ホモ・サピエンスは意外と繁殖力が高い哺乳類だったので、他の生存競争のライバルとなる人種がいなくなると、あつという間にホモ・サピエンスが増えて、今度はこの同種同士で生存競争を始めることになるんです。

便利で住みたい場所は、当然かぶるので、具体的には、隣の部族と資源をめぐって争いが起きます。水があつて物資が豊富なところがあると、その場所欲しさに、生存競争をすることにります。そういう時に敵を殲滅しないとダメ、情けをかけて残したりすれば、後々復讐されるんです。とにかく敵は殲滅しなきゃいけないという信じられた時代があつたようで、私たちに、人の不幸は密の味、つまり敵の苦痛を喜びに変える……、という回路が潜在的に植えつけられました。

ただご安心ください。通常、私たちはその回路はOFFになっています。しかし「ダークトライアド」の人は、それをONにしてしまふ、彼らの弱さの一つはそこです。

「人の不幸は密の味」の回路が簡単にONになる、その結果として彼らの行動傾向はサディスティックになりがちなんです。特に、立場の弱い者に対してとてもサディスティックになりますが、立場が上の人に対しては、そんなこと絶対しないんですよ。自分より立場が劣る人にだけにします。

そしてその延長線上にあるのが「反フェミニズム」です。現代社会はだいたい変わってききましたが、ちょっと前まで女性の社会進出を望まない、女性の能力を認めたくない男性が多い時代がありました。私も母がずっと働いていたので、女性も当然働くものだと思ってきましたんですが、大人になってから、必ずしもそうじゃないとわかったくらいです。ましてや父親より母親のほうが強いとずっと思っていましたけれど、世の中の傾向的には反フェミニズムというものが存在するらしいということもだんだんわかってきました、これも一種のサディズムの延長線上にあるんですね。男性のダークトライアドの人は、異性をいじめめることを快感に思う方が多いようです。ちなみに女性のダークトライアドの人もいますが、彼女たちの場合は、男女の別なく構わず弱いものをいじめます。いずれにしても、人の痛みが自分の快楽になる、という現象をどう見るか……、これは課題だなあ、と思えますね。

そして「美德シグナリング」、この言葉は初めて聞いた方もいらっしゃるかと思いますが、自分が道徳的に優れている、ある正しい考えを持っていると他者にアピールするため、公共の場で道徳的な行動（SNSでの表明、社会貢献活動への質問など）を行う行為です。私は社会のために良いことをやっている、わかりやすい言葉を好んで使っているでしょう？ 私は、みんなの味方だよ……、みたいな感じ。でも最近では「いい人アピール」や「道徳ぶる」といった意味で、皮肉や蔑称として使われることが多いです。

これらはダークトライアドが好む行動の一つのパターンです。みんなが知ってくれないことだけが彼らの好物で、人に知られないようなことは絶対にしません。

### 「ダークトライアド」の各々の特性

まず、自己愛性パーソナリティの人は、どんな性格を持っているのか、ということを紹介するために、皆さんに私たちの意識をコントロールしている脳について少し紹介したいと思います。これを知っておくと自分自身の脳内を理解しやすくなるところもあるので、自分にも絡めながら聞いていただくとありがたいのですが、私たちの意識をコントロールする脳は大きく分けると四つに分けられます。そしてそれぞれに目的を持っています。

進化の順番でいうと、まず私が「ワニの脳」と呼んでいるものがありますが、もちろん脳内にワニがいるというわけではなく例えているのですが、簡単に言うと「生存と生殖」の分野、生理的な快感を追求する、これがワニの脳です。眠いとかお腹が空いたとか、ゴロゴロダラダラしたいとか、そういう欲求をいつも持ち続けていますが、それに向けて意識をコントロールするのが言葉の一方です。

続いて「ウマの脳」、安全をモニタリングをする分野です。この脳の働きは、人間の場合、社会的安全にほぼ利用されています。人間にとっての安全とは社会的な安全ですから、自分の味方はいるかな、自分を陥れようとしている人や嫌っている人はいないかな？このように社会的安全を無意識にモニタリングしています。この無意識的なモニタリングをちょっと実感していただきたいので、例えば電車の中でもどこでも、また無関係な人であっても、誰かからずっとイヤな顔をされた場面を想像してみると、気になりますよ。これは皆さんのウマの脳が働いている証拠で、何かしたかな？とちょっと心配になったりするかもしれませんが、そのような働きをするのがこのウマの脳ですね。

続いて「サル」の脳。これは、私たちの先祖が類人猿になってから獲得したと考えられているのですが、これは「自尊心」の脳の分

野です。自己肯定感という言葉が最近よく使われますが、自分はどれだけ価値があるのだろうか？自分の社会的な価値を、常にモニタリングしています。

そして最後に「ヒトの脳」、これは「計画性と展望」する分野です。このヒトの脳が、私たちホモ・サピエンスと他の哺乳類と区別する最も重要なところになっています。この四つの脳がバランスをとって、私たちの意識をコントロールしています。皆さんも、その時々に応じてどつかの脳が強くなったり、弱くなったりしているわけで、またこの四つの脳は協力することもあれば、競合することもあります。例えば競合の一番わかりやすい場面としては、寒い朝、目覚まし時計が鳴ったかどうか？これは、前の夜に「ヒトの脳」が明日は目的があるので目覚まし時計をセットするのですが、「ワニの脳」がまだいいやー、と止めて止めちゃうわけですね。

こんな風に、協力することもあれば競合することもあるのがこの四つの脳なんです。自己愛性パーソナリティを持つ人の脳内は、実はとてもバランスが悪いんです。この四つの脳のうち「サル」の脳が格別に特に強く、俺様はすごい」という幻想に酔いれられることが大好きなんです。「自己高揚感」とも言いますが、何か自分はすごいと思

えると、ちょっと嬉しくなる経験は誰にでも覚えがおりでしょう。そして周囲から褒めたたえられたりすると、このサルが喜んで、脳内は快樂物質で一杯になります。そして自己愛性パーソナリティの人は、このサルが喜んでいて高揚感が癖になるんです。そこで結果的にどうなるかというと、自分はずいという幻想・空想に浸るのが大好きなんです。この人の空想の中では、みんながオレのことを噂しているみたいだと勝手に思い込み、だから足引つ張る奴がいる、妬まれるんだよな……、と本人は思っているんです。周囲はあの人にはヤバすぎると噂して、足を引つ張っていると思われている人は、本当はいい人の場合が多いんです。

気をつけるよう注意してくれる人が自分の足を引つ張っているのだ、というように、自己愛性パーソナリティの脳内では変化してしまっているのです。こういう脳内で暮らしている人たちですから、結構、ハラスメントをしがちなんです。どんなハラスメントをするかという、例えば臆病なくせに、相手が自分よりも弱いと判断すると鋭いです。部下に対し、「オレが若い頃は、云々……」とか、こういう言動になりがちです。自分が凄いと思い込む高揚感が大好きですから、それを確認しようと、結果的にマウンティングを取ろうとします。

ですから部下にとっては大変ですね。こういうタイプの人は、自分より偉い人にはものすごくゴマをすります。偉い人から褒めてもらえると、やっぱりオレはすごいな！ となりますので、上司と部下に対して、めちゃくちゃ態度が違ってきます。

たとえば飲み会での典型例。まず、会話が成立していない一方的に自慢話などを続けられると、聞き手は疲れてくるわけです。でもそこでイヤな顔するのは失礼なので、ガマンしながら話を聞いています。結果的に聞かされた方にとっては楽しいはずの飲みの場が苦行になってしまうわけです。逆に言うと、飲み会の場でこういう行動をされたら、もしかして？ と思った方がいいかもしれません。

職場での深刻な影響。自己愛性パーソナリティの方のお陰で、職場を自分の素晴らしさをみんなに見せつけようとする、公開劇場の場になった例がありました。頼まれて職場の様子を見させてもらったことがあったんですが、ターゲットになった方を隣に座らせて、事あるごとに、横からダメじゃないか、何やってるんだ、ということを繰り返してしまいました。周りの人たちは気の毒だと思いがちですが、そこに割り込むと、今度は自分がターゲットにされるから、巻き込まれないように仕事をしていました。無難に仕事をこなしているから、表向きの生産性が上がっているか

のようにも見えますが、でも本当に上がっていたのかは疑問でした。実は軽蔑というのは、私たち人間にとっては一番心理的ダメージを受けるコミュニケーションなんですね。この人はヤバイ人だとどんなにわかっているとしても、軽蔑のメッセージを与えられ続けると、心理的なダメージが本当に強くなるんですね。

一時代前なら、結果を出しているから、業績が悪くないからと言ってそのままにまっしてしまっていたということがあったりもしましたが、長い目で見たら組織にとって決してプラスではないと思いますので、見つけ出して対策を取っていただければと思います。

#### 周囲に気遣う姿勢で指導を行うこと

大体こういう話をすると、自分は大丈夫だろうかと心配なさる方がいらっしやるんですが、心配されている皆さんは大丈夫です。心配している時点で大丈夫ですので、ご安心ください。ただし、部下にそう見られていたらイヤだし、誤解は与えたくないものです。

そこでそう見られないために何が大事かというと、できるだけ周囲に気遣う姿勢をとって指導を行いましょう。指導というのは、そのものがマウンティングになりがちなんです。そうならない指導というのは難しいんですが、マウンティングと取られないような指導をすることが大切です。

例えばよくやってくれているね、こうやってくれたらもっといいんだよ、みたいに、相手の自尊心を尊重しながら指導していくというのを心掛けることです。

また、指導以外の場でも、相手を尊重するメッセージ、相手に感謝をするメッセージを与えること。人間には「行為の返報性」というものがあり、好意・助け・情報などを受け取ると、それに対してお返しをしたいと感じる心理作用が働きます。人間関係で「ギブ・アンド・テイク」の基本として活用され、相手の行動を促す効果があります。これは好意だけでなく悪意に対して「仕返しをしたい」と感じる場合にも働き、人間関係を円滑にする強力な心理メカニズムです。日頃から感謝の気持ちを伝えていくやり方で、自己愛性パーソナリティ・モンスターに間違われることはだいぶなくなります。

さて続いて、ここからはサイコパスについて紹介したいと思います。これまで紹介した自己愛性パーソナリティ・モンスターというのは、先天的要素がゼロではないんですが、多くの場合、学習性のもなんです。多分、もともと自分に自信がない方たちなんです。自信がないから、自分が凄いなと思つた瞬間、何か気持ちが悪くなつてしまつて、それが癖になつてしまうんです。ですから、学習性の要素が強いんです。

一方、サイコパシーは、学習性のものでなく、持って生まれたものなんです。サイコパスは、映画などの影響でイコール犯罪というイメージが強いかと思いますが、実はサイコパシーのほとんどは犯罪者ではありません。善良な市民として普通に暮らしているサイコパシーもたくさんいます。もちろん普通の人として暮らしていても、気をつけないといけない場合もありますが、イコール犯罪者じゃないことは覚えておいてください。

特徴的には、先ほどの脳の話でいうと、安全をモニタリングする機能と、道徳性の脳の機能が不十分です。大胆かつ不道徳な行動が平気できる、つまりワニの脳やヒトの脳が命令する。自分はこれをやるんだという目的意識、そのような何かを達成するという欲求、または快楽を追求するという欲求。この二つの要求についてめっちゃめっちゃ素直になっちゃってしまいます。安全も気にしないし、誰かが困るか否かもそんなに気にならない、そういう特徴があるんです。

それが犯罪に結びつくときもありますが、ほとんどの場合は犯罪には結びつきません。しかし、日常生活の中で密なコミュニケーションをとっていると、時にえっ？と思うようなことを言ったりやったりします。道徳性が希薄ということ、言い換えると、悪質な気持ちかわからないので、例えば最近、怖

がらせないために人身事故という言葉を社内アナウンスでは避けているんですが、そういう時にも感情的な反応をしない。そしてまた道徳性の希薄は、明らかにウソとわかっていても、ウソをつく時に迷いがなく、自己愛性パーソナリティとの違いとも言えます。迷いなくウソが言えるから、ウソで人を操作できるし、またウソをついているときに動揺がないので、本当のことを話している時と態度が変わらない。そういうところがちょっと怖いかな、という感じですね。

三つ目の「マキャヴェリアン」に入りたいと思います。この言葉はイタリアの政治思想家ニッコロ・マキャヴェリに由来し、彼の著書『君主論』において、政治的成功のためには道徳的な制約を超えて行動することが必要であると説かれています。この思想は、特に権力を持つ者が自己の利益を追求する際に、どのような手段を用いても構わないという考え方を含んでいます。しかしマキャヴェリ本人はマキャヴェリアンではない。マキャヴェリこの本を書いた時は、彼自身が「反メデイチ家の陰謀の容疑」ボスコリ事件」で酷目に遭わされた直後で、こんな目に遭わされな

を堂々とやれ、平治は次の戦いへの備えの時、敵は徹底的に滅ぼすこのような主張が出ています。これをそのまま行動パターンにしちゃっている人たちのことをマキャヴェリアンというふうに呼んでいます。

その特徴は、私利私欲や権力欲に忠実で、他者に対して操作的で道徳心や共感性に欠けるマキャヴェリアンもイコール犯罪者ではないので、政治家、官僚など行政の執行者とか、大企業の最高責任者などで、社会的に活躍している人たちもたくさんいると言われます。

ただし、彼らの怖いところは人に対して残酷なところなんです。そして、自分自身の評判が悪くなるリスクがあるときは、誰か別の人の悪い評判を流します。そうすることで、みんなの視線が別の人に向くようにそういうウソをつくんです。そして他者に対して親密で感情や思想を共有する関係を避ける人と密な関係を作るのを避けます。それは密な関係を作って自分のことを知られてしまうことに彼らはリスクを感じるんです。表面的には温厚で、人と仲良くしようとする態度を見せるんですが、人との不快感がとことん割り落とします。飲み会には来るけど、あまり深い話はせずに帰っちゃう、二次会には絶対来ないようなタイプの人間です。

彼らの脳について説明しますと、社会的な策略みたいところは結構スマートなんです。

そして他者の攻撃に使おうとすることができたりします。先ほどお話しした「美德シグナリング」が一番上手いのはマキャヴェリアンです。そして彼らが脳内ではどういう情報を処理されているかという点、どうすれば自分が有利になれるかなという計画を常に考えていて、言葉巧みにどのように周りに発信したら自分に有利に動くか？ という展望を立てています。でもこういう人が同僚だったら部下だったら、あるいは取引先だったらどうでしょう？ ちょっと不気味というか、あんまり付き合いたくないな、という気がするかと思えます。

マキャヴェリアンが特に嫌うのは、みんなに愛されている人です。みんなに愛されている人を見ると、自分の邪魔者になると思うみたいで、どうやってこのタイプの人を落としたいでやろうか、みたいな画策をする事例はかなりあり、こういう人に対する悪い言葉を流すんです。そうすると、よく知らない人は最初は、えーっ、まさかと思うんですけど、実は情報というのは、情報の発信源が疑わしくても、しばらく経つと発信源と情報の中身が切り離されてしまって、情報だけを残します。これを「スリーパー効果」というんですが、そうすると、発信源が怪しげな情報であっても、時間が経つにつれてまことしやかに脳内では信じてしまうんです。以上

【講師略歴】

杉山 崇 (すぎやま たかし)

脳心理学者・心理マネジメント研究所代表

・一九七〇年、山口県下関市生まれ

・学習院大学大学院心理学専攻修了

・神奈川大学人間科学部教授、大学院人間科学研究科委員長、就職支援部部长

・脳心理学者、心理マネジメント研究所代表、臨床心理士・公認心理師、一級キャリアコンサルタント

・三十一年以上にわたって心と脳の研究で多数の競争型研究基金を得つつ、個人のカウンセリングや企業の各種課題へのコンサルティングを行っている。

・著書多数、フジテレビ『ホンマでっかTV』、『NHKニュース』などメディアへの出演も多数

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。(敬称略・到着順)



安西 裕

平成九年・商学部卒

(株)エスコ・代表取締役

東京都港区在住



田母神 博文

昭和六十二年・商学部卒

(株)関電工

取締役社長 社長執行役員

千葉県鎌ヶ谷市在住

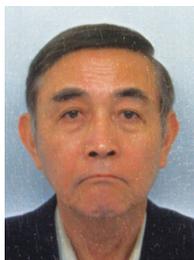


小林 伸弘

昭和六十二年・法学部卒

(株)関電工・理事

埼玉県入間郡在住



松嶋 節郎

昭和四十七年・工学部卒

松島工業(株)東京支店

代表取締役会長

東京都大田区在住



中込 太郎

平成九年・経営学部卒

シナネンホールディングス(株)

代表取締役社長

神奈川県藤沢市在住

◆訃報

当会の理事小島清治氏(昭和四十二年・政経学部卒)が、令和七年十二月十七日に逝去されました。享年八十四歳。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



## 経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB・OG諸氏よ！ 来たれ！「連合駿台会へ！」

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

「連合駿台会」は1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2002年に統合して設立された歴史と伝統あるOB・OG組織です。

昨年の明治大学における大きな話題は、何といても「山の上ホテル」の継承でした。そして今年も、創立150周年である2031年に向けた将来像を示すビジョン「MEIJI VISION 150 一前へ」が、いよいよ本格的に動き出す年となります。駿河台キャンパス総合施設整備計画

「SURUGADAI 6.0」も始動し、明治大学はさらなる発展のステージへと踏み出します。

連合駿台会は、大きく躍進していく明治大学の大応援団となつて、明治大学の挑戦を後押ししていきます。



連合駿台会会長  
田村 駿  
(明治大学評議員会議長)

各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします

資料のご請求はこちらまで

連合駿台会事務局

TEL : 03-3296-4747 FAX : 03-3296-4748  
Email : rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp

連合駿台会

検索



### ★明治大学広報(1月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。

#### ◆忘年会会景品寄贈者

十一月例会では、恒例のクジ引き大会を行いました。景品にご協力いただきました方々は、下記の通りです(五十音順・敬称略)

浅井宏、朝田英太郎、安達明正、阿部倫明、安藤正浩、池田一義、石橋良一、石松喜典、伊藤正博、伊原敏雄、宇尾野隆、潮田伊佐夫、浦川竜哉、大石容紫子、大谷正則、大野正美、大原幸男、大前実之、大村託現、岡田誠司、奥住賢二、小座間義隆、鬼塚和也、尾上哲也、小山哲郎、恩田和広、風間淳、勝保正義、金子圭太、狩野省市、河村博、神林光、木下唯志、木村健一、久保聡、栗田大輔、小池康浩、小井戸亮文、児玉圭司、小濱雅説、小松健、根田吉雄、齋藤柳光、三枝富博、酒井喜壽、坂本道昭、佐藤仁、佐藤宏之、佐藤陽子、佐野公哉、志田憲彦、柴田清之、進藤健一、杉浦伸二、鈴木一巳、鈴木勝利、鈴木隆志、関口勝裕、瀬戸正道、相臺志浩、高澤徹、高橋郁夫、高見克司、武内裕、田中彰一、田中等、谷原誠、田村駿、辻井知明、当山明彦、徳丸平太郎、戸田琢哉、泊三夫、永井伸彦、中村康一、新田晃、根岸伸明、野口一哉、野田康平、橋本竜也、長谷川進一、長谷川俊也、幡谷公朗、馬場範夫、濱田憲孝、林威樹、平田桂子、深代尚夫、古本英樹、真家裕介、眞壁八郎、松崎優子、三浦栄治、宮下降、六井元一、村岡健、村山友彦、室井恵明、谷口弘恭、柳谷孝、山口大介、山口政廣、山口晃久、弓野理恵、吉田光一郎、吉田信行、渡邊建三

みなさまありがとうございます。

#### ◆十一月例会出席者

青柳勝榮、秋谷勝俊、浅井宏、朝田英太郎、安達明正、阿部倫明、安藤正浩、池田一義、石松喜典、市川亨、伊東正博、乾和行、伊原敏雄、今村健、宇川一夫、潮田伊佐夫、梅野修、浦川竜哉、榎本知佐、大石容紫子、大谷正則、大野正美、大原幸男、大前実之、大村託現、小座間善隆、鬼塚和也、尾上哲也、小山哲郎、恩田和広、風間淳、勝保正義、金山貴博、金子圭太、栢森靖、狩野省市、河村博、神林光、木下唯志、杳掛英二、久保聡、栗田大輔、小池康浩、小井戸亮文、小濱雅説、小松健、小山修、小山有彦、根田哲雄、根田吉雄、齋藤柳光、三枝富博、酒井喜壽、坂田英夫、坂田康明、佐藤宏之、佐藤陽子、佐野公哉、澤野太嘉嗣、柴田清之、進藤健一、杉浦伸二、鈴木一巳、関口勝裕、瀬戸正道、相臺志浩、田中等、高澤徹、高橋郁夫、高見克司、武内裕、田中彰一、田中等、田邊弥、田村駿、辻井知明、当山明彦、徳丸平太郎、戸田琢哉、泊三夫、富水流孝二、永井伸彦、中川敏洋、長尾睦子、長岡利行、中川敏洋、長瀬琢磨、中村耕一、中村豊、二井康夫、西澤豊、新田晃、根岸伸明、野口一哉、野田康平、橋本竜也、橋本元、長谷川進一、長谷川俊也、馬場範夫、濱田憲孝、原宏、平田桂子、平田静子、深代尚夫、福田和彦、福見勉、藤代耕一、同ご同伴、古本英樹、堀越孝、真家裕介、前川一郎、眞壁八郎、榎野泰、同ご同伴、松崎優子、三浦栄治、向井眞一、村岡健、村山友彦、室井恵明、谷口弘恭、山口大介、山田朝彦、山田幸夫、弓野理恵、吉田光一郎、吉田信行、芳村正徳、渡邊建三